

# 令和4年度 出雲市戦没者追悼・平和祈念式典 戦没者追悼・平和祈念のことば

本日ここに飯塚市長様をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席のもと、出雲市戦没者追悼・平和祈念式典が厳かに挙行されるにあたり、出雲市遺族会を代表いたしまして、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

忘れることができない昭和20年8月15日、日本が終戦を迎えた日から77年の歳月が流れました。先の大戦におきましては、我が国では310万人、出雲市におきましては6,244人の尊い命を祖国のために捧げました。

平穏であった家庭も、一瞬にして一家の大きな柱を失い、最愛の家族を失った悲しみにたえながら、私たち戦没者家族は懸命に支え合って、苦難な長い道乗り越えてきました。時は過ぎ、あれから77年が経過した今日、我が国はこれまで戦争をすることなく、平和で豊かな暮らしが享受できますのも、尊い命を、国の礎となって、戦地で散った多くの犠牲のもとに成り立っている事を忘れてはなりません。

今年は沖縄が日本に復帰して50年にあたる節目の年でもありました。式典の模様をテレビで拝見しながら、改めて平和への誓いをあらたにしたところでした。しかし、いま世界では、軍事進攻や核やミサイル実験など国際平和を脅かす出来事が相次いで起こっています。こうした行為は、罪もない人々の命やあたりまえの日常生活を奪うものであり、言い表すことができない強い憤りと悲しみを禁じえません。

私たち遺族会としましては、たとえ、どんな時代がこよとも、未来永劫にわたり、常に恒久平和を願い、戦争の惨禍が再び繰り返されないためにも、戦争の悲惨さ、命の尊さについて、万世にわたり語り継ぐとともに、英霊の顕彰に努めることが今を生きる私たちの使命だと思っております。

現在、遺族会は遺児の高齢化によりまして、年々減少傾向にある中ですが、昨年、孫・ひ孫の会をあらたに結成し、たいへん心強く思っております。これからはみなさんと共に英霊の顕彰、組織の維持に努めていく所存でございます。終わりにあたりまして、感染対策をご配慮いただきながら、本日ここに出雲市戦没者追悼・平和祈念式典を開催していただきましたこと、重ねて深く感謝を申しあげまして、追悼のことばといたします。

令和4年8月11日

出雲市遺族会 会長 山代 裕 始